

本気で！必死で！

執筆担当者

孫田 猛

夜のテレビ番組で、
ビジネスの成功者や注
目される経営者を特集
するものがいくつがあ
る。

自分も是非あやかり
たいものだど、ついチ
ヤネルを合わせてし
まう。

単なる娯楽番組とし
て位置づけても一向に
かまわないのだろうが、
せっかくだから、何か
参考になることはない
かと、気にかけて見る。

一時のヒルズ族に代
表される、人の金を運
用して短期間にケタ違
いの利益を生むパター
ンは、どうやら自分に
は全く縁がないようだ。

というより、くれぐれ
もうまい話などはない
と捉えたらいい。

この類とは正反対に、
技術ひとつで大企業や

研究機関を手玉に取り、
世界のシェアをにぎる
鉄工所のおじさんや、
規制でがんじがらめの
世界に、新風を巻き起
こした風雲児のドキュ
メントのほうがよくど
共感が得られる。

いわゆる「セレブ」
は別として、これはす
ごい！という人の共通
点は、まず仕事その
ものに飛びぬけてまじ
めである。そして長
時間働いている。遊
ぶことにはうつつをぬか
してはいない。自分
に与えられた仕事に妥
協していない。自ら
具体的な目標を明確に
持ち、それを達成する
まで決してあきらめな
い、ということのよう
である。

大きな成功はいきな
り来るものではないよ、
とある人から教えられ
た。例えば目と鼻の先
にある今日一日の目標
もクリアできないでい
て、何が大きな成功か、
ということだ。

旅業界の構造的な
厳しさにについて様々な
角度から論じられてい

る。これはどういうこ
とかというところ、ことば
が不適切かもしれない
が、そこそのこの努力で
何とかなつた時代が過
ぎ去つてしまつたので
ある。同じ事を繰り返
していても、顧客がつ
いてきた時代が過ぎ去
つてしまつたのである。

自館の提供商品に安
易な妥協はないか？顧
客に本当に満足してい
ただいてるか？もつ
と改善することはない
か？そして経営者とし
て、誰よりも仕事を本
気で、必死で取り組ん
でいるか？

経営状況の悪化を他
人や環境変化のせい
にするひまがあつたら、
この問いにまず、正直
に答えてみてはいかが
か。取り組みが不十分
で取り返しのつかない
ことになつたら、あと
で自分が後悔するだけ
である。

<http://www.ikmag.jp>

otamail:mag
pota@ikmag.jp